

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への家族の参加は契約時に説明するに留まっている。書面開催という形であっても家族が参加できるようにすることが課題。	運営推進会議に家族が参加できるよう、次第や議事録の郵送を行う。	①令和2年4月から開始したホーム便りと一緒に、運営推進会議の次第も家族へ郵送もしくはメール送信行い、家族からの意見や要望を聞く ②家族からの意見、要望も議事録に反映させる	3ヶ月
2	2	町会との関わりはコロナ禍ということもあり、運営推進会議での書面やメールでのやりとりに留まっている。思いだけではなく、行動に移す事が課題。	自治会に加入し、情報の共有を行うことで地域の方にグループホームきくまの家を知ってもらう。今後は職員、入居者共に地域の活動へ参加して行く。	①自治会に加入する ②現在参加することができる地域の取り組みがあるかを知り、職員から参加する	1ヶ月
3	35	災害対策：備蓄が不十分、年2回の避難訓練は実施しているものの、地域との協力体制はまだ築けていない。	不足している備蓄品を揃える。 災害時の地域との協力・連携体制を構築する。	①災害備蓄を収納できる場所の確保 ②非常食、防災頭巾など備蓄品の購入 ③地域における災害時の体制・対策の情報収集	6ヶ月
4	40	入居者と一緒に献立を考え、一緒に食材の買い物に行き、食事を作ることがコロナ禍ということを実行できていない。1か月に数回からでも、入居者と一緒に行うように取り組むことが課題。	1週間に1食、献立決め、買い物、調理を入居者と一緒に行うようになる。	①日曜日の日中、その日の夕食に食べたいものを入居者と考えて決める ②毎週日曜日の夕食は、一緒に食材を買いに行く	6ヶ月
5					ヶ月